

# 色彩言語

## の編集

セラピューティック・ランゲージ編

# Zone 3

Adam Kirkham (C) All rights reserved.



色彩言語を場面場面に応じて自在に紡ぐために、色の体幹と体感を養いましょう

Zone 3は実にユニークです。なぜならば、ここで取り上げられるテーマカラー7色のいずれもが、複数色の混色から成り立っているからです。

そのため、これらの7色と私たちとの関わり方や、意味づけの仕方（意味合いの持たせ方）は—その背景にある構成色も含めて—生活圏・文化圏によって、全く異なったものになっています。

つまり、色の成り立ちが複雑になればなるほど、解釈に多様性が生じます。そのため、個性豊かでユニークな色彩の世界観が展開されるというわけです。

Zone3のクラスでは、このユニークで多種多様な色彩の世界観を、体験的に学んでいただくようにデザインされています。

Zone1での基礎理論の修得は、家を建てることに喩えるならば、構

造についての理解でした。色彩言葉の構造についての理解です。

Zone2で行った、様々なテキスト作成(作文)は、家の形についての理解のようなものでした。文章の形(文体)によって異なる結果となるムードや、伝わり方についての理解です。つまり、色彩の言語表現の在り方と、その機能ならびに想定される結果についての理解です。

Zone3では、家の内外観について学ぶようなクラスです。コーディネーションの段階ということもできるでしょう。望む方向に向けた表現の在り方、アレンジの仕方、調整の取り方など、色彩言葉の紡ぎ方についての理解です。

当初は意図していなかったことですが、こうしてみると、Zone1はブルーの学びであったことに気づきます。色彩言語ならびにそこに含まれる意味合い(情報)の成り立ちについて理論的に理解をすることから始まりました。

Zone2でもこの学びを引き継いだのですが、Zone1との違いは、単語レベルから文章レベルへと発展させたことです。これにより感覚や感情が大きく動く体験を重ねる結果となりました。まさにイエローの学びでした。

そしてZone3はレッドの学びです。色彩言語をコミュニケーションのため、あるいは自己表現のためのツールとして活用したいのであれば「使ってこそその道具」です。そのため、参加者一人一人の身体感覚に根づかせることを学びの主眼にしています。

ヒプノシスや瞑想、クリーン・ランゲージなどなど、右脳と左脳、意識と無意識を活性化させる様々な技法を取り入れて進めていきます。どうぞお楽しみにご参加くださいませ。



今一度“色彩言語を編集する”ということについて...



# 2015

この講座の特徴は、特定のメソッドやシステムに偏ることなく、色と人との関わりを取り上げているということです。このような学び方は、普遍的なエッセンスと、特殊なエッセンスとの差異に気づく能力を養うことを可能にします。そのためにクラスでは、色彩を表す言葉に注目しています。そこから、「色はどのように人と関わっているのか？」ということについて、じっくりと本質的に考えていきます。

そして、特定のメソッドやシステムに偏ることがないからこそ、自ずと体幹が養われ、小手先の表現手段ではなく、いつでもどこでも自在に用いるために必要な、質的理解が形成されるようデザインされています。

# 色彩情報の編集

セラピューティック・ランゲージ編

## 3rd Zone

### 第1回 2015.1.18

第1回目では、私たち人間と色との関わり(色彩体験)「根源的体験」「社会的体験」「個人的体験」に分類しながら、色が“意味するところ”をとらえる学びです。そして、“成り立ちベースの色相環”と“認識ベースの色相環”の違いについても探求を深めます。

### 第2回 2015.2.15

第2回目では、BG(青緑)を取り上げます。「ターコイズ」「サクスブルー」など、呼称豊かな青緑の世界に浸り、その色の質的理解を通じて、創造性の翼を広げていくことを目指します。

### 第3回 2015.3.29

第3回目では、RP(赤紫)を取り上げます。「マゼンタ」「ローズ」「フューシャ」など、多種多様な呼称に触れ、その質的理解を深めることで、あなた独自の表現の在り方についての探求を行います。

### 第4回 2015.4.19

第4回目では、「コーラルカラー」を取り上げます。レッド、オレンジ、ピンクと、様々なコーラルの世界を通じて、私たちが、この色とどのような関わり(色彩体験)をしてきたのかについての探求を深めます。

### 第5回 2015.05.17

第5回目では、GY(黄緑)を取り上げます。黄緑の世界はとても興味深く、イエローの世界とのクロスオーバーが多々見られることが特徴です。また21世紀に入って注目を集めている色という点においても、今の時代における黄緑の意味合いについて考察します。

### 第6回 2015.06.21

第6回目では、ゴールドとシルバーを取り上げます。どちらも輝きを備える色ですが、輝き方は異なります。このことは私たちの内的成長とどのように関わっているかについて探求します。

### 第7回 2015.08.02

第7回目では、PB(青紫)を取り上げます。虹の7色の中では、最も最後に位置を与えられたこの色は、私たちに何を伝えようとしているのでしょうか？色の意味合い・意味づけの歴史と共に理解を深めます。

### 第8回 2015.08.30

お疲れ様でした。本当に最終回です。まための講義をします。この回で行われる曼荼羅ワークを通じて、自分の中の色彩の世界観が統合されゆくプロセスを体感いただくことでしょう。そして、頑張ったご褒美として世界で唯一の『色彩辞書』が手渡されます。



## 3rd Zone のテーマ

このクラスでは、色彩言語を用いたコミュニケーションや表現が、表面的なレベルに留まることなく、ハートから発信できることを目指しています。そのために発話の体幹を鍛えるエクササイズをします。これは、いかに「体験・体感」するかということに深く関わっています。そのため、これまでのクラスと同様に、私たちが、どのようにして、その色を認識し、その色と関わってきたかという、文化人類的な見地や社会学的な見地を非常に大切にしています。ここがしっかりとできれば、様々な場面(あるいはツールやシステム)において、色彩言語をいかようにも変換することが可能になります。言葉に踊らされるのではなく、必要に応じて言葉を使い分ける術を手中に修めることを目指しています。

そして、この体幹が鍛えられることにより、発話数もコントロールできるようになります。必要なことを必要なだけ言うということが自然に行われるようになれば、サイレンス(沈黙)や、「言葉にならない言葉」とも、スムーズに関わることができるようになります。パーバル(言語)コミュニケーションも、ノン・パーバル(非言語)コミュニケーションも同様なものとして、あなたの表現方法に位置づけられるようになるでしょう。

## 3rd Zone

開講日：2015.01.05 on Web

☆蟹座の満月☆

ライブクラス日程(全8回)

2015年1月～2015年8月

日曜日13:00～18:00

※原則として第3日曜日ですが、今期は少し変則的です。ご了承ください。

※諸事情による変更もあります。予めご了承ください。

### 受講料&お支払い形式

#### 1) Zone1&2修了生

85,000yen(税別)

★早期割引価格

82,000yen(税別)

2015.01.05までにお支払いの場合

#### 2) Zone1もしくは2修了生

88,000yen(税別)

★早期割引価格

85,000yen(税別)

2015.01.05までにお支払いの場合

#### 3) Zone3からご参加の方

92,000yen(税別)

★早期割引価格

89,000yen(税別)

2015.01.05までにお支払いの場合

※ゆうちょ銀行へのお振り込みにてお願いいたします。

### 申し込み期日

参加申込み：2014.12.31

早割振込み：2015.01.05

振込み期日：2015.01.15

### お問い合わせ・お申し込み

inluce@7jigen.com

phone : 0533-83-5308 / 090-6585-7329

3年に渡って開催されたこのコースもいよいよクライマックスです。

一人でも多くの方と、一緒できることを楽しみにしています。

最終回でお渡しする『色彩言語&クリスタルの辞書のような辞典』もお楽しみに！

